

ツインシティ大神地区のまちづくり

▼ツインシティとツインシティ大神地区の概要

ツインシティとは東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ対岸の平塚市大神地区からなる、双子の新たなまちのことです。また、「(仮称) ツインシティ橋」を架けることにより、一体的なまちづくりを目指しています。

本市は、その一翼を担う、ツインシティ大神地区(約68.8ha)を、「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン」において、平塚市の北の核として位置付け、まちづくりを進めています。

土地区画整理事業の概要

事業名	平塚都市計画事業 ツインシティ大神地区 土地区画整理事業
施行者	平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合
施行面積	約68.8ha
人口計画	約3,300人
事業費	約219億円
平均減歩率	約40.13%
組合設立認可日	平成27年8月28日
事業施行期間	平成27年8月28日～ 令和12年3月31日まで

土地区画整理事業の設計図



▼これまでの経緯

- 平成9年11月 新幹線新駅誘致地区が「寒川町倉見地区」に決定、「ツインシティ構想」が決定
- 平成14年4月 神奈川県及び神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会で「ツインシティ整備計画」を策定
- 平成21年12月 ツインシティ大神地区土地区画整理組合設立準備会が発足
- 平成27年8月 平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合設立を認可
- 平成27年12月 平塚市ツインシティ土地区画整理組合が工事着工
- 令和元年11月 地区北西に位置する立地企業が開業(地区内で初めて)
- 令和4年4月 相模小学校在移転し開校

▼ツインシティ大神地区の状況

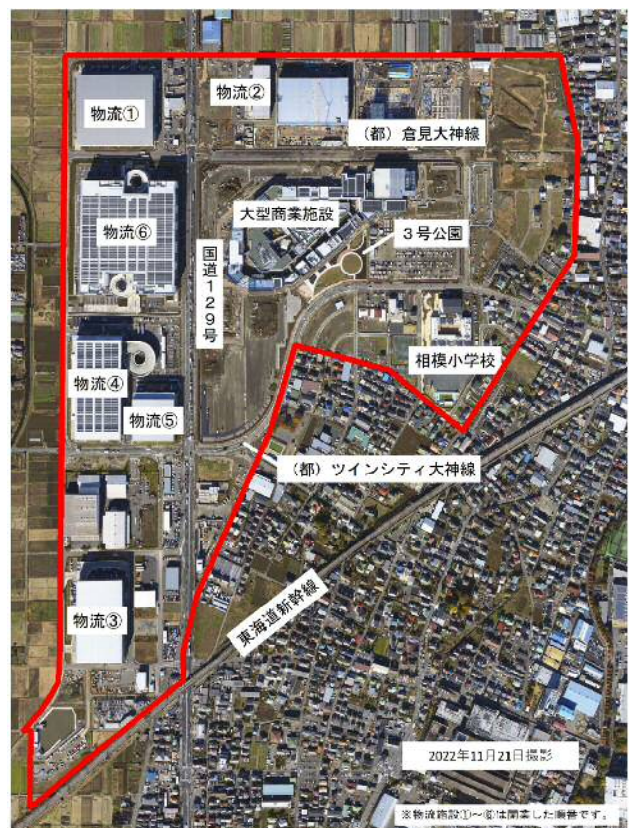
本地区では、平成27年8月の平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合の設立認可から、組合による宅地造成や道路、公園などの工事が進められてきました。都市基盤整備が進む中、物流施設がすでに6棟開業し新たな雇用機会を創出、令和4年4月には相模小学校が移転し、新たな校舎に生まれ変わりました。現在はまちびらきの会場となる地区中央の3号公園が完成し、今年度末の地区内幹線道路ネットワークの完成に向け、主要な幹線道路の工事が進められており、土地区画整理事業の総事業費の約94%を執行する予定です。

まちびらき後の令和5年春には、地区の賑わいの核となる大型商業施設が開業する予定で、3棟の物流施設も令和5年度中に順次開業する予定です。また、令和5年度より主に住宅街区の道路や公園などの都市基盤整備が進められる予定のため、令和6年度からは住宅建設が徐々に進んでいき、まちの完成に近づいていく見通しです。

▼工事施工前



▼令和4年11月時点



(航空写真：平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合提供)